

### 事業実施状況 指定管理者 自己評価票

施設名	国分寺市立にしまち児童館および西町学童保育所
指定管理者名	株式会社 こどもの森

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由
画収の支適計 確性	収支計画に基づき適正に執行されているか	3	年間を通しての収支において適正に執行した。
	協定等に基づき業務が実施されているか	3	西町プラザの特徴を活かし、9月には学童児との多世代交流として敬老行事で利用者へ向けて手紙を書きそれを掲示した。3月のひな祭りに合わせて雛人形を飾り、館内を春の装飾で飾りつけ利用者を楽しんでもらった。
業務の履行状況の評価	開館予定日数・開館時間は守られているか	3	仕様書等で求められた時間を守った。
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっているか	3	業務遂行に必要な従業員数が確保されている。また、館長を中心として執行体制が明確になっている。
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されているか	4	仕様書で求められた有資格者を確保している。学童においては、放課後児童指導員3名を配置し、非常勤職員の資格取得者も配置した。
	書類は適正に保管され、必要な報告を市に行っているか	3	適正に保管している。また、随時必要な報告を行っている。
	施設全体が清潔に保たれているか	3	日々、清掃を行っている。児童館においては、休館日の日曜日は洗濯・お掃除デーとし、トイレ掃除とカバーリングの洗濯、ワックスかけを実施した。学童においては、開所時と気が付いたら随時清掃・消毒を行った。
	法定点検や検査等は確実に実施しているか	3	仕様書で求められた点検、検査を適正に実行した。
	利用者の満足度はどうか	4	アンケートでいただいた意見で改善できる点は即改善した。図書室のマンガは子どもたちが読みたいとリクエストのあった物を購入した。日頃から利用者・保護者とコミュニケーションを取り、ニーズの把握に努めている。
サービスの質に関する評価	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	利用者からのニーズに応え西町親子ひろばにおいて「おはなしひろば」を実施、系列保育園とのコラボ企画として保育士によるベビーマッサージも実施し多くの乳幼児親子に喜ばれた。児童館においても小学生のニーズに応じてカードゲーム大会やきもだめし、おまつりWEEKを実施し小学生の来館につながった。
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であるか	4	指定管理者主催のマナー研修に参加するなど、職員のマナーの向上に努めた。保護者に対し、怪我・トラブルなど丁寧に対応した。
	クレーム等に対して適切に対処しているか	3	ご意見を頂いた場合には速やかに報告、検証、内容調査、対策・改善を実施し適切に対応した。また職員間においては朝礼や昼礼で状況及び情報の共有を行い対策・改善を図り適切に対応した。
	個人情報適切に取り扱われているか	3	関係機関とのやり取りの中で、守秘義務を意識しながら情報の共有を行った。個人情報は鍵付きの引出しに保管し、閉館・閉所時に施錠している。
	業務に必要な研修を実施しているか	3	消防所の職員による消火・AED・三角巾を使用しての怪我対応の訓練を行った。学童においては防犯訓練を実施した。市、指定管理者の主催する研修に参加した。
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であるか	3	学童においては、子どもの特性を職員間で情報共有し、個別に対応が必要な場合には個別に対応しつつすべての子どもが同じように活動へ参加できるように配慮した。児童館においても、放課後等デイサービスの児童が放課後等デイサービスの職員同伴で児童館を利用しに来ていたので、全ての子どもが同じように活動できるように工夫をした。
	業務の改善を図ったか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)		
	施設水準の性に評価した	自然災害等への対応	4
学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について		4	学童においては学校施設の利用を通して連携した。保護者に対しては個別に面談を実施したり、電話連絡を行った際に児童の様子を伝え信頼関係を構築している。児童館においては成長段階に応じた遊びの提供を行い、遊具も成長段階とニーズに応じたものを取り入れた。また学童だけでなく児童館においてもお迎えの際の会話や、気になる案件に関しては電話連絡を行い保護者と信頼関係を構築した。7月の七夕飾りや12月のしめ縄作りの際には地域の方に材料の提供等の協力をして頂き企画を実施した。
配慮を要する児童への対応について		4	配慮を必要とする児童の特性を職員全体で把握し、児童が過ごしやすい環境をただ整えた。コロナ禍での分散保育を実施する中でも児童が過ごしやすい部屋で保育出来るよう工夫して対応した。食物アレルギーの児童へのおやつは食品の原材料チェックや工程の確認を職員全員で実施し個別のお皿を使用して提供した。毎日の職員ミーティング・昼礼で障害児や食物アレルギー児の対応について情報共有し対応を周知した。
<b>指定管理者の自己評価</b>			
総合評価		評価の理由等	
4	市の要求水準を上回っている	子ども同士のトラブル、怪我の対応など1つずつ丁寧に対応した。利用者のニーズを聞き取り、要望の高かったマンガや新しいおもちゃを購入したりした。工作のイベントでは感染対策を徹底して開催した。小学生からの要望が多かった大会やきもだめしも実施し、来館につながった。秋にはプラザまつりが中止だったためおまつりWEEKとして一日ひとつイベントを実施して利用者の要望に答えた。西町学童保育所においては、自主事業として地域の方に協力して頂きながら「しめ縄作り」を実施した。又、地域の方に喜んでもらえるよう館内をクリスマス飾りやひな飾りと春の装飾に飾りつけを行ったり、秋には敬老行事で学童から地域の方々へ手紙を書いてそれを掲示した。	
		評価者氏名 : 川尻 亜利奈	

事業実施状況 指定管理者 自己評価票

施設名	西町地域センター・生きがいセンターにしまち
指定管理者名	株式会社こどもの森

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由
画収 確性 の支 適計	収支計画に基づき適正に執行されているか	3	年間を通しての収支において適正に執行した。
	協定等に基づき業務が実施されているか	4	協定書に基づき、生きがいセンターの運営・管理を行った。また新規にはじめてのフェアタップと筆で遊ぼうを開講した。地域センターにおいても協定書に基づき運営・管理を行った。また多世代の集う西町プラザの特徴をいかし、季節を感じてもらえるよう季節に応じた飾りつけを実施し利用者に季節を感じてもらおう季節行事を実施した。
業務 の履 行状 況の 評価	開館予定日数・開館時間は守られているか	3	仕様書等に基づき、守られていた。1件施設の鍵を忘れるミスがあったが、その後適切に対処し改善している。
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっているか	3	業務遂行に必要な従業員数が確保されている。また、館長を中心として執行体制が明確になっている。
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されているか	3	仕様書で求められた有資格者を確保している。
	書類は適正に保管され、必要な報告を市に行っているか	3	適正に保管している。また、随時必要な報告を行っている。
	施設全体が清潔に保たれているか	3	仕様書で求められた清掃を行い、環境整備に努めている。生きがいセンターにおいては定期的に消毒作業を行い、地域センターにおいても職員による施設内の消毒作業を行った。
	法定点検や検査等は確実に実施しているか	3	仕様書で求められた点検、検査を適正に実行した。
	利用者の満足度はどうか	4	アンケート等を参考にしても利用者全体の満足度は高く、これからも利用者の目線に立ち、気持ちよく利用してもらえるようにしていきたい。
サー ビス の質 に關 する 評価	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	アンケート等で頂いた意見を反映するために、施設整備や職員研修を行った。地域センターで思うように部屋が取れない団体には生きがいセンターの利用を促し各団体が競合することなく施設を使えるように声掛けした。
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であるか	4	指定管理者主催のマナー研修に参加するなど、職員のマナーの向上に努めた。
	クレーム等に対して適切に対処しているか	3	令和4年度は地域センター・生きがいセンターともにクレームはなかった。ご意見があった場合は報告、内容調査、対策・改善を速やかに実施していく。
	個人情報適切に取り扱われているか	3	関係機関とのやり取りの中で、守秘義務を意識しながら情報の共有を行った。
	業務に必要な研修を実施しているか	3	市、指定管理者の主催する研修に、都度参加している。
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であるか	3	聴覚に障害のある利用者団体へは筆談やFAXで連絡を行うなど適切な対応をした。
	業務の改善を図ったか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)		
	施設水の 準性の 評価に 応じた	利用者協議会等の運営(協議会を開催し、その意見を西町プラザの運営に反映すること)	3
地域との連携(西町プラザまつりを支援・協力し、地域の祭り等に参加すること)	3	高木町防災会に出席した。地域の祭りは令和4年度も実施されなかった。	
高齢者の健康作りを目的とした自主事業を、地域特性 複合施設などの施設の特徴及び利用者の声などをもとに企画し実施している。	4	複合施設の特性を生かし、一階ロビーと二階ロビーにおいて地域センターを利用する「墨湯会」と生きがいセンターを利用している「好画会」「なでしこ」の団体による自主事業の作品展示会を実施し、作品を発表する場と団体の活動を利用者に知ってもらう機会とした。生きがいセンターにおいて今年度も「落語会」を企画し多くの方が楽しみに参加され、たくさん笑って頂き好評だった。	
指定管理者の自己評価			
総合評価		評価の理由等	
4	市の要求水準を上回っている	利用者の言葉に耳を傾け、利用者が快適に過ごせる様に改善を行った。自主事業として季節が感じられる皆の憩いの場となるように、施設内の飾りつけを行い利用者に季節を感じてもらった。利用者協議会の活動を活性化させるためにその資金となる資源物回収に協力した。利用者の「やりたい」という声を聞き、図書運営委員会のリサイクルバザー等を実施し、地域の活性化に努めた。利用者協議会役員会と連携した。作品発表の場として生きがいセンターと地域センターの利用団体による展示会を企画実施した。 評価者氏名：川尻 亜利奈	